

「公民館と学校の連携による人材の育成と期待される役割」講座

～地域でつながりあい、自治の土壌を耕すために～

互いのかかわりを紡ぎつつ、愉しく生きるために、広範な人々が社会教育とは何か、社会教育をベースにすると何が変わるのかについて理解することが重要となるなか、学校教育と社会教育が連携し、地域づくりをどう進めていくか学びました。(受講者数 53名)

講義

自治の土壌を耕す公民館とは

大正大学 地域創生学部教授 牧野 篤 氏



〈受講者アンケートから〉

- これこそ社会教育「学び直し」だと思った。学習が楽習になった。(市町村)
- 公民館の役割の大きさを実感した。「地域とともにある学校づくり」のためにも、社会教育との連携、公民館との連携が必要であると思った。(国・県)
- 改めて社会教育・公民館活動の大切さが理解できた。その大切さを住民にわかりやすく伝えていかなくてはいけないと感じた。(公民館)
- 自分の地域で、まずは小さなことから始めてみたいと思った。(諸団体)
- プライドを持って生きられるようにすることが大切という事が心に残った。(学校)
- 人と人との関わりをつくる社会教育の大切さ、地域と学校との関係づくりの方法や必要性について自分事として考えることができました。(学校)

講義・演習

自分たちの地域から学校がなくなったら？

大正大学 地域創生学部教授 牧野 篤 氏



〈受講者アンケートから〉

- 学校は子ども大人も共通認識（大切なものの共有）がしやすい場所、それに携わる大人の姿や子どもの姿を見せ、伝え合うことが大切だと感じた。(公民館)
- 教員が気軽に地域と関わるができる仕組みづくりが必要。(学校)
- 普段は関わることのない皆さんの意見を聞いて良かった。(学校)
- あらゆる視点からCSや地域のことを考えることが面白かった。(市町村)